



[広報資料]

2011年5月1日

## 「3D 東日本大震災」映像について

### 【概要】

(株)NHKメディアテクノロジーは20年余りにわたって立体映像実用化への取り組みをおこなひ、数多くの3D作品を制作してまいりました。このたびの未曾有の大地震と大津波災害に際して当社は、今まで蓄積してきた3D映像技術を使って被災地の惨状を映像記録して後世に残し、今後の復興と防災に生かす一助にさせていただくことこそ義務であると考えました。

そこで4月上旬、カメラマンとステレオグラファー(3D映像コーディネーター)、それに現場取材統括の3人からなる取材班を一週間にわたって岩手・宮城両県に派遣し、被災地の中から7地域を選んで重点的に取材しました。収録時間は計約2時間30分に及びました。その素材をもとに「3D 東日本大震災」を制作しました。この映像記録が防災関係者や教育施設等で広く活用され防災に寄与することを期待しています。

被災者数などの被害データや被災・復興状況は日々変化していますので、現地取材期間中の状況に基づいて制作しています。そのことが、後年ご覧になるかたがたに、大震災一か月後の状況がどうであったかを如実に示すことにもなると思っています。

また大震災の惨状が海外にもリアリティを持って伝えられるように、英語版を制作しました。今月21日からフランスのラ・ロシェルで開かれた第22回国際ドキュメンタリーマーケット「SUNNY SIDE OF THE DOC」にも、主催者の要請に応じて出展するとともに、「3Dパネル」に出席してこの映像を紹介します。

当社は昨年、倅田來未(こうたくみ)やモーニング娘。等の3D音楽ライブ、Jリーグやプロ野球等のスポーツの3D中継、それにドラマや自然紀行などの3D収録を手がけてまいりましたが、今回取材制作したようないわば「3Dルポルタージュ」ともいべきジャンルへの挑戦は初めてのことです。今後はスポーツやエンターテインメントに限らず、3D制作のジャンルを拡大していくことが3D業界の発展に寄与するものと考えています。

当社は東日本大震災の被災地について復興への道のりを含めて、今後も継続的に3D取材を続けていくことにしています。

## 【取材地】

### 宮古市田老地区

高さ 10 メートル、総延長 2,433 メートルの 2 重の防潮堤「万里の長城」が地区を囲み備えは十分と思われていたが・・・。

### 陸前高田市

2 万 3 千人の暮らしがあった街が壊滅。国の名勝「高田松原」の 7 万本の松林は、「奇跡の一本松」だけが残った。

### 気仙沼市

日本有数の漁業基地。水産業・漁船造船業への打撃ははかり知れない。震災当夜、大火災に見舞われ延焼した鹿折（ししおり）地区。全長 50 メートルの大型巻き網運搬船など多数の漁船が陸地深く打ち上げられた。

### 南三陸町

人口 1 万 8 千人。95 年の阪神大震災を教訓に震度 7 を想定して建設した防災対策庁舎。若い女性職員は津波に襲われるまで避難を呼びかけるマイクを離さなかったという。

### 石巻市立大川小学校

津波で全校生徒 108 人のうち 74 人がなくなるか行方不明になった北上川沿いの小学校。地震からちょうど一ヶ月後に訪問した当日も自衛隊が教室の土砂をかき出して捜索活動を続けていた。

### 東松山市野蒜

仙石線仙台あおば通り行き列車が、津波でくの字に折れ曲がって脱線。

### 仙台市若林区

ササニシキやひとめぼれを生産する宮城県の米どころ、塩害で水田耕作は数年間困難に。津波が高さ 5 メートルの防潮堤とその内側の松の防潮林を破壊。住宅街は基礎が残るだけになった。

以上